

Central Daily Market Report

2017年7月20日(木)

セントラル短資株式会社 総合企画部

●資金需給

単位：億円	2017年7月20日		2017年7月21日		2017年7月24日	
	需給速報		需給予想		当社予想	
銀行券	▲ 300		▲ 400		▲ 1,000	
財政	▲ 15,400		▲ 1,100		3,000	
資金過不足	▲ 15,700		▲ 1,500		2,000	
金融調節	スタート	エンド	スタート	エンド	スタート	エンド
貸出						
全店共通					1,300	▲ 1,300
国債買現						
国債売現						
国庫短期証買入						
国債買入	6,300					
CP等買入		▲ 200		▲ 200		
貸出支援基金(成)						
貸出支援基金(貸)						
被災地支援			1,100	▲ 1,100		
社債等買入						
ETF買入	100					
国債補完供給	▲ 300	500		300		
当預増減	▲ 9,300		▲ 1,400		2,000	
当座預金残高	3,575,200		3,573,800		3,575,800	
準備預金残高	3,170,500					
積み終了先	3,160,400				7月21日以降の残り所要積立額	
超過準備	3,154,900				積数 26.600	
非準備預金先	404,700				1日平均 1,000	
積み期間(7/16~8/15)の所要準備額					2,999,300	
準備預金進捗率	実績	99.11%	日数	16.13%		

●2017年7月20日の市場動向

<インターバンク市場>

午前8時発表の準備預金残高見込みは、前日比8,000億円減少の317兆4,000億円(当座預金残高見込みは357兆4,000億円)。本日の無担O/N物は、信託・証券業態などから▲0.075~▲0.055%、地銀業態から▲0.075~▲0.05%近辺の調達希望で始まった。昨日と同様、特に取り上がる先は見受けられず、朝方の出合いの水準は▲0.07~▲0.045%、一巡後は▲0.075~▲0.065%の出合いが中心となった。ターム物は閑散な地合いだった。本日の共通担保資金供給オペは、2W物8,000億円のオファーに対し、応札額1,311億円(期落ち額1,300億円)の札割れだった。

<レポ市場>

GC T/N(7/21-7/24)は▲0.090~▲0.080%程度、S/N(7/24-7/25)は▲0.090~▲0.080%程度での出合い。引き続き資金調達・運用サイドともに動きは見られず、閑散とした地合いが続いている。SCはロールオーバーを中心に幅広い銘柄で取引が見られた。個別銘柄では5Y130~132、10Y333~347、20Y155~161などにビッドの出入りが多く見られた。

<短国市場>

現先S/Nは、横ばい圏で推移した。アウトライト市場では、店頭での買いに加え、オペ期待を反映してか、3M物が▲0.118~▲0.116%、1Y物が▲0.118~▲0.117%で出合うなど堅調な地合いが継続していた。

<CP市場>

現先レートは、横ばい圏で推移した。CP発行市場は、電力業態から大型発行が実施されたものの、発行総額は800億円弱にとどまった。発行レートに大きな変動は見られなかった。

●短期金融市場関連指標

2017/7/20	無担(速報)			有担(速報)			短国	東京レポレート	JGB新発10年債		日経平均株価		ドル/円	
	単位：%	最低	最高	平均	最低	最高			平均	直近値	前日比	15時時点	前日比	為替(9時)
O/N	▲ 0.080	0.001	▲ 0.056				-	▲ 0.083	0.070	0.000	20,144.59	123.73	111.88-89	112.27-29
T/N							-	▲ 0.087						
S/N							-	-						
1W			▲ 0.040				-	▲ 0.093						
2W	▲ 0.045	0.010	▲ 0.030				-	▲ 0.097						
3W			0.000				-	▲ 0.098						
1M							-	▲ 0.103						
3M							▲ 0.118	▲ 0.112						
6M							▲ 0.110	▲ 0.122						
1Y							▲ 0.117	▲ 0.151						
									日付	7/12	7/13	7/14	7/18	7/19
									日銀当預残	3,602,400	3,577,000	3,590,900	3,567,300	3,584,500
									準備預金残	3,220,700	3,209,300	3,193,300	3,165,000	3,188,400
									マナタリベース	4,652,100	4,627,400	4,642,100	4,617,900	4,634,400
									無担O/N加重平均	▲0.044%	▲0.040%	▲0.042%	▲0.055%	▲0.055%
									コール市場残高	84,961	83,991	85,931	86,247	84,014
									うち無担	65,579	64,877	66,608	66,699	63,078
									うちO/N	39,809	39,567	42,908	43,249	39,518
									うち有担	19,382	19,114	19,323	19,548	20,936

●入札結果

名称	回号	表面利率	発行予定額	発行日	償還日	応募額(億円)	応募額(億円)	募入最低額	募入最高利回	案分率	募入平均価格	募入平均利回	第1非価格競争入札(億円)
本日は財務省による国債等の入札は実施されませんでした。													

●オペ結果

種類	オファー額(億円・百万ドル)	スタート日	エンド日	貸付利率	応札総額(億円・百万ドル)	落札総額(億円・百万ドル)	按分レート・利回較差・価格較差	全取レート・利回較差・価格較差	平均落札レート・利回較差・価格較差	按分比率
共通担保資金供給(全店)<固定金利方式>	8,000	2017/7/24	2017/8/7		1,311	1311				
国債補完供給(国債売現先)・即日(午前オファー分)	40,000	2017/7/20	2017/7/21		291	291		▲0.600	▲0.600	

●2017年7月21日の予定

*流動性供給入札(5,500億円、7/25発行)

●日銀金融政策決定会合・結果

- 現行の金融市場調節方針を維持することを賛成多数で決定。
- (1)長短金利操作(イールドカーブ・コントロール)(賛成7反対2)
 - 短期金利：日本銀行当座預金のうち政策金利残高に▲0.1%のマイナス金利を適用する。
 - 長期金利：10年物国債金利がゼロ%程度で推移するよう、長期国債の買入れを行う。買入れ額については、概ね現状程度の買入れペース(保有残高の増加額年間約80兆円)をめどとしつつ、金利操作方針を実現するよう運営する。
- (2)資産買入れ方針(賛成7反対2)(長期国債以外の資産の買入れについて)
 - ①ETFおよびJ-REITについて、保有残高が、それぞれ年間約6兆円、年間約900億円に相当するペースで増加するよう買入れを行う。
 - ②CP等、社債等について、それぞれ約2.2兆円、約3.2兆円の残高を維持する。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

◆本資料は何かの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はおお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。

◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長(登金)第526号 日本証券業協会加入